

酒パブリックリサイクル促進協議会

Vol.25 令和元年8月15日 発行 発行：酒パブリックリサイクル促進協議会

第36回情報交流会「大阪会議」



酒促進協 亀井会長
令和元年7月4日(木)KKRホテル大阪に於いて、大阪国税局米地酒類業調整官をお招きし、会員27社45名の出席のもと、第12回定期総会を開催いたしました。

その中で平成30年度事業報告及び収支決算、令和元年度事業計画および収支予算等を審議し、すべて意義なく承認され、同時に役員改選にもなう新役員



大阪国税局 米地酒類業調整官



藤井包装技術事務所 藤井所長

酒パブリックリサイクル促進協議会 第12回定期総会 第36回情報交流会「大阪会議」

【事業報告】
会員企業が自社の工場から出る充填損紙をリサイクルすることを目的として、平成20年に灘・伏見地区でスタートした酒パブリック循環システムは順調に継続しており、平成30年度は灘地区57トン、伏見地区29トンの酒パックがリサイクルされ、スタート当初からの累計は1,400トンに上っている。九州エリアでも、平成24年から回収システムが動き出し、さらに個々の会員企業でも以前産廃処理だったところがリサイクルへと転換が進んできており、会員企業のリサイクル率は85.5%までです。また回収だけでなく酒パック再生紙の活用面でも、灘地区会員によってレギュラー使用されている天パットの他、オリ



循環資源・環境ビジョン研究所 鈴木主任研究員

が選任され下記組織体制が整いました。議事内容を抜粋してご報告させていただきます。

【事業報告】
会員企業が自社の工場から出る充填損紙をリサイクルすることを目的として、平成20年に灘・伏見地区でスタートした酒パブリック循環システムは順調に継続しており、平成30年度は灘地区57トン、伏見地区29トンの酒パックがリサイクルされ、スタート当初からの累計は1,400トンに上っている。九州エリアでも、平成24年から回収システムが動き出し、さらに個々の会員企業でも以前産廃処理だったところがリサイクルへと転換が進んできており、会員企業のリサイクル率は85.5%までです。また回収だけでなく酒パック再生紙の活用面でも、灘地区会員によってレギュラー使用されている天パットの他、オリ

ジナル手提げ袋やイベントで使用するノベルティなど、各社の酒パック再生紙の活用が見られた。さらに灘地区の酒蔵まつりやその他の地域でも数社が自社イベントなどで酒促進協パネルを使用するなど、個別企業のリサイクル啓発の積極的な活動が見られるようになってきた。

総会の後開催された第36回情報交流会では、藤井包装技術事務所の藤井均所長による「改正食品衛生法施行を目前に控えて」と、循環資源・環境ビジョン研究所の鈴木直人主任研究員には「酒類用紙パックのリサイクル促進に向けた調査報告」を講演いただきました。内容については中面をご参照ください。

酒パブリックリサイクル促進協議会 組織体制

会長	亀井 慶承	(日本酒造組合中央会)
副会長	小島 泰弘	(月桂冠)
同	新任 城村 孝幸	(霧島酒造)
同	和泉 智成	(大関)
同	伊藤 順	(盛田)
同	井上 哲也	(宝ホールディングス)
同	岡本 直久	(中壜酒造)
同	新任 國弘 武嗣	(大日本印刷)
同	小久保 誠	(凸版印刷)
同	杉本 武彦	(小山本家酒造)
同	立木 義広	(日本盛)
同	畑 英樹	(オエノンホールディングス)
同	新任 水谷 仁	(白鶴酒造)
同	幸 賢一	(三和酒類)
同	監査役 船戸 正義	(日本酒造組合中央会)
同	古田 晴子	(印刷工業会)
事務局	和田 志津子	
	西田 克彦	
【専門部】		
(集めて使うリサイクル協会)		
広報部会・部会長	井上 哲也	(宝ホールディングス)
調査部会・部会長	國弘 武嗣	(大日本印刷)

●酒パブリックリサイクル促進協議会 会員リスト●

- | | | |
|-------------------------|---|--------------------------|
| 1 日本酒造組合中央会(東京都) | 15 三和酒類株式会社(大分県) | 27 石塚硝子株式会社(東京都) |
| 2 雲海酒造株式会社(宮崎県) | 16 高千穂酒造株式会社(宮崎県) | 28 大日本印刷株式会社(東京都) |
| 3 オエノンホールディングス株式会社(東京都) | 17 高橋酒造株式会社(熊本県) | 29 東京製紙株式会社(静岡県) |
| (合同酒精・福徳長酒類 他) | 18 宝酒造株式会社(京都府) | 30 凸版印刷株式会社(東京都) |
| 4 大口酒造株式会社(鹿児島県) | 19 辰馬本家酒造株式会社(兵庫県) | 31 日本製紙株式会社(東京都) |
| 5 大関株式会社(兵庫県) | 20 中壜酒造株式会社(愛知県) | 32 日本テトラパック株式会社(東京都) |
| 6 関西ボトリング株式会社(兵庫県) | 21 日本盛株式会社(兵庫県) | 33 北越パッケージ株式会社(東京都) |
| 7 菊正宗酒造株式会社(兵庫県) | 22 白鶴酒造株式会社(兵庫県) | 34 紙製容器包装リサイクル推進協議会(東京都) |
| 8 黄桜株式会社(京都府) | 23 平喜酒造株式会社(岡山県) | 35 一般社団法人全国清涼飲料連合会(東京都) |
| 9 霧島酒造株式会社(宮崎県) | 24 伏見清酒パック協同組合(京都府) | 36 株式会社トベ商事(東京都) |
| 10 月桂冠株式会社(京都府) | (北川本家・齋藤酒造・招徳酒造・玉乃光酒造・鶴正酒造・豊澤本店・都鶴酒造・山本勘藏商店・山本本家) | 37 大和板紙株式会社(大阪府) |
| 11 小西酒造株式会社(兵庫県) | | 38 株式会社日誠産業(徳島県) |
| 12 株式会社小山本家酒造(埼玉県) | 25 盛田株式会社(愛知県) | 39 コアレックス信栄株式会社(静岡県) |
| 13 薩摩酒造株式会社(鹿児島県) | 26 印刷工業会(東京都) | 40 株式会社田中商店(熊本県) |
| 14 沢の鶴株式会社(兵庫県) | | |

〈参加数:40団体・企業〉

事務局:特定非営利活動法人 集めて使うリサイクル協会 (大阪府)

「酒パブリックリサイクル促進協議会」参加申込書

「酒パブリックリサイクル促進協議会」に下記内容で、参加を申し込みます。

年会費: 1口 50,000円 (口、 円)

年会費は、紙パック酒出荷数に応じて下記のように設定しています。(平成28年3月改訂)

- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本未満 1口 50,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、100万本以上1,000万本未満 2口 100,000円
- ◆ 1.8ℓ換算で、1,000万本以上 5口 250,000円

※なお、酒造メーカー以外の会員様の年会費は、1口 50,000円です。

記入日	
会社名・団体名	
所属・役職名	
担当者名	
住所	〒
電話・FAX番号	TEL: FAX:
メールアドレス	

*FAX(06-6271-8666)でお申し込みください。追って年会費振込口座等のご連絡をさせていただきます。ご不明な点がございましたら、事務局:集めて使うリサイクル協会(西田)までお問合せ下さいませようお願い申し上げます。

酒パブリックリサイクル促進協議会
事務局:NPO法人 集めて使うリサイクル協会
大阪市中央区南船場1-12-3 船場グランドビル9階
TEL 06-6271-8665 FAX 06-6271-8666

講演1 改正食品衛生法施行を目前に控えて

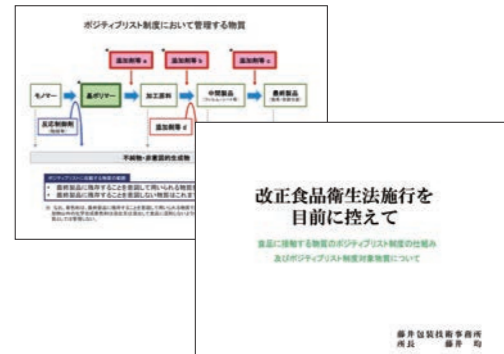


藤井包装技術事務所
所長 藤井 均氏

食品用器具・容器包装の安全性や規制の国際整合性確保を目的として、食品衛生法が改正され2020年6月施行となるため、その改正の背景および改正部分について詳細に解説ご講演いただきました。

改正のポイントは、現行制度が原材料について原則使用を認めた上で、使用できないものを定めているのに対して、改正法では原則使用を禁止し、使用を認めるものを定めている点にあります。

新たなポジティブリスト制度の仕組みやポジティブリスト制度対象物質についてのお話は、参加者が酒造メーカーや容器メーカーという法の改正に直接関係する企業であり、大いに関心をもって拝聴させていただきました。



講演2 酒類用紙パックのリサイクル促進に向けた調査報告



循環資源・環境ビジョン研究所
主任研究員 鈴木 直人氏

昨年度、日本酒造組合中央会の委託により実施された、酒パックリサイクルに関する自治体アンケート調査の結果をご報告いただきました。

酒パックについては、アルミ無しであっても20、2%の市町村では「可燃ごみ」に分別されており、アルミ付きは76、2%が「可燃ごみ」に分別されているとのこと。

また酒パックにアルミ無しとアルミ付きがあることの認知度については37、4%が「知らなかった」と回答しており、アルミ付き紙パックが再生可能であることは半数近くの自治体で認知しておらず、回収拠点の拡大と同時に、さらなる情報発信・啓発活動が求められるとの報告がありました。

酒類用紙パックのリサイクル促進に向けた調査報告

2019.7.4
鈴木直人(循環資源・環境ビジョン研究所)

酒・パックリサイクル促進協議会 関西地区見学会

大和板紙 本社工場見学

2019年7月5日(金)
【大和板紙株式会社】
於：大阪府柏原市

回収酒パックの受け皿工場として、灘伏見循環システムの中核的役割を果たす大和板紙本社工場を、酒促進協メンバーが訪問しました。大和板紙は創業時から古紙を原料として板紙の製造を行っており、とりわけ受け入れ工場が少ない難処理古紙にも積極的にチャレンジしている、日本屈指の再

生板紙製紙工場です。回収された様々な酒パックが溶解され、パルプとポリ、アルミが分離される様子や、古紙を原料とするために生じる不純物除去の仕組み。そして板紙ならではの9層抄きの手紙機など興味深く見学しました。



パック・ミズター 伊丹工場

2019年7月5日(金)
【パック・ミズター株式会社】
於：兵庫県伊丹市

今年3月東京で開催した酒促進協情報交流会で、環境負荷軽減に取り組み商品として製造するMDボード、段ボールパレットについて水谷社長にご講演いただきましたが、今回は実際の製造現場を訪問しました。大型段ボール・重量物用強化段ボール・紙パレットに強みを持つ生産環境を各所に整

備されており、伊丹工場の生産設備から生み出される強化段ボールなどを見学しました。

また従来海外生産であった強化段ボール原紙を国内生産し、さらに防水加工に成功したとのことで水を通さない状態を見せいただきました。



第36回情報交流会 調査部会報告

2018年度酒・パックリサイクルに関するアンケート調査結果

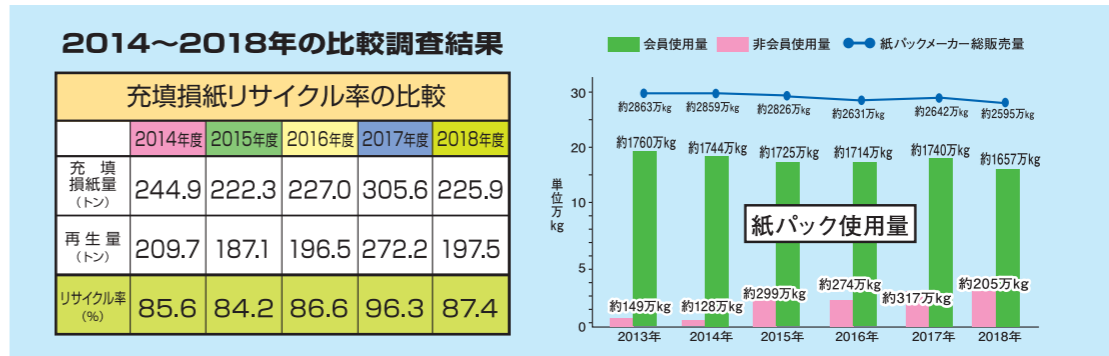


調査部会 全国弘部会長

酒造メーカーにおける酒パックリサイクルの現状を把握するため、毎年行っている実態調査を2018年度も実施しました。その結果以下の内容が明らかになりました。

昨年度と比較して会員全体の生産量は、アルミ無しは増加したものの、アルミ付きの減少が大きかったため全体数量は減少しました。会員全体のカバー率は63、8%なり3、3ポイント減少しています。

損紙リサイクル率についても、諸般の事情があつてと思われませんが、リサイクルから産廃処理に転じた企業があり、8、5、5%と減少しました。会員企業のリサイクル率100%を目指して、今後も積極的に働きかけを続けていきたいと考えます。



第36回情報交流会 広報部会報告

各社イベントでの取り組み事例

各社の消費者向けイベントでの酒パックリサイクルの啓蒙活動を呼びかけましたところ、多くの会社のイベントにて実施いただきました。



広報部会 古川部会長

月桂冠(株) 酒蔵まつり

2019年令和元年3月23日(土)
於：月桂冠酒蔵
来場者：3000人

昔の酒造道具や酒造りの工程、月桂冠の歴史の説明と同時に、紙管パネルを掲示して酒パックリサイクルを呼びかけました。



紙管パネル展示の様子

白鶴酒造(株) 酒蔵開放

2019年4月13日(土)
於：白鶴酒造酒蔵
来場者：4500人



紙漉き体験コーナーを設置し、その中で紙管パネルを展示、説明を行いました。

紙漉き体験者には酒パック貯金箱を進呈。

ロハスフェスタ万博 2019 SPRING

2019年4月27日(土)~29日(月)祝
於：大阪・万博記念公園
来場者：87487人
【宝ホールディングス(株)】

酒パック再生紙のオリジナル紙管パネルを掲示。ノベルティとして酒パック再生のパズルやメモカード、しおり、ハガキなどを配布。



配布した再生品